

【生活】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none">・めあてに沿って、自分から進んで物事に関わろうとしたり、活動を楽しんだりできる。・おもちゃ作りや物作りなどに集中し、熱中して関わるができる。・活動したことや観察したことを言葉や絵で表現することが難しい。・身近な生き物に興味・関心はあるが、生活経験が少ないため、世話の仕方を考えたり、育つ環境を整えたりして飼育することが難しい。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">・体験活動を通して、感じたことや気付いたことを言葉や絵で表現できるようにすることが課題である。・生き物の生態を調べたり、育つ環境を整える材料を用意したりして、学習を進める土台作りをすることが課題である。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">・「形」「色」「さわりごごち」などの観察の視点を具体的に設定し、感じたことを言葉で表現できるようにする。・1・2年での合同学習を増やし、1年生は2年生を見本としてカードの書き方や校外学習の仕方を学ぶ。2年生は、1年生に教えることで上級生としての自覚を持って学習に取り組めるようにする。・オクリンクを使い写真を撮ったり気付いたことをカードに書いたりして、オクリンク上のスライドで観察カードを作成する。・飼育方法を調べられるよう、本や図鑑を準備したり、他者の聞き取りができるよう地域との連携を図ったりする。